

チーム山梨 次世代へとつなく新たな団結 — 創立15周年記念祝賀会を開催 —

一般社団法人
山梨県鉄構溶接協会

鉄構業・溶接業を営む事業所を会員とする一般社団法人山梨県鉄構溶接協会（中山一仁会長 会員 56名）の創立15周年記念事業が9月15日に協会会員や関係者約120名の出席により盛大に行われた。

当協会は2008年に社団法人山梨県鉄構協会と社団法人日本溶接協会山梨支部とが合併。鉄構と溶接とが一緒になり「鉄構溶接」の名称を持つのは全国唯一となっている。

前身である山梨県鉄構工業連合会（後の（社）山梨県鉄構協会）は1973年に任意組織として、また社団法人日本溶接協会山梨支部は1955年にそれぞれ発足、合併後には会員企業の技術者の育成のための山梨県溶接技術競技会や将来業界を担う高校生人材の育成を積極的に行い、高校に出向いての技術講習の実施や山梨県高等学校溶接競技会を主催している。

祝賀会には来賓として山梨県、日本溶接協会、全国鐵構工業協会、山梨労働局、



挨拶をする中山会長



祝賀会の様子

中央会が招かれ、栗山中央会会長からは「貴協会が継続してきた人材育成への取り組みは、大きな成果をあげており、各企業の経営課題を組織、業界を活用して解決に導くこの取り組みは、まさに中央会が目指すものでもあり、建設業界のみならず他の業界の模範となるものであります。」と挨拶があり、和やかな中で祝宴が進んだ。

中小企業を取り巻く環境は常に変化しているが、鉄構・溶接の業界はインフラや企業・個人の建物、社会・経済を支える重要な産業であり、協会では会員企業の優れた技術を次世代への引き継ぎと技術向上に大きな役割を果たし、15周年を契機に更なる業界の発展を目指していく。

